

第174回拡大地方委員会

国労水戸

職場から労働運動を

3月9日、オーシャンビュー大洗において第174回拡大地方委員会を開催した。質疑討論では8名の委員から真摯な討論により当面の闘争方針が確立した。2019春闘・組織強化拡大・JRで働くすべての労働者の労働条件改善に向けて取り組む事を確認した。

増副委員長長の司会で職場からの運動で組織拡大をしていこうと挨拶した。議長に土浦分会の田山委員が選出され、組合が弱体化し合理化攻撃が次々と進んでいる。エルダーで早期退



国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 久保田重明
編集責任者 坂下 司

**職場の矛盾
仕事の不満
国労に結集し
みんなを相談 解決へ**

職・辞退があり対策が必要と挨拶した。久保田委員長から職場からの仕事総点検運動で労働運動の信頼を高め組織拡大を行う。

反原発・脱原発では監視の強化、核と人類は共存できない。現状を全国に発信しよう。

2019春闘、労働条件改善、反合理化について挨拶した。

委員からの発言は、駅の窓口が廃止・縮小され、お客のサービス低下になる。

国労脱退者が出たが全体集会を開き、今の組織をどう守ろうかと話をした。

エルダー社員の賃金、労働条件の改善をされたい。条件が合わなくて退職する人も出ている。

若いプロパーの退職も出ている。その補充もなく要員不足の中で働いている。

過半数代表選で、この一年間、若い人と関りを持ち、昨年より票が増えた。日常の関わりが必要である。

常磐線全線開通に向け、健康に不安がある。以前と比較して高線量計の携帯や甲状腺検査もやらなくなった。もう一度、初心に帰って取り組みたい。

赤沼書記長から、平和と民主主義を守る闘いについて自治体選挙、参議院選挙に勝利する。

原発問題では安心して働くための情報を共有化し、フクシマを風化させない取り組みをしていく。

組合員を一人にさせず、エルダーの雇用先の労働条

件改善、雇用の確保を行う。JR貨物と一体となって、すべての取り組みを組織強化拡大にしていこうと集約した。最後に久保田委員長の団結がんばろうで閉会した。



来賓紹介

- 国労本部委員長
- 全国交運共済東事業本部長
- アベニール専務取締役
- いわき市市議会議員
- 国労東日本本部書記長

- 菊池 忠志
- 松井 正義
- 佐藤 正幸
- 狩野 光昭
- 伊藤 隆夫